

## Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

先日、教育学者で哲学者でもある苫野一徳さんの講演を聞いてきました。その中で「教えるとは希望を語ること」「人は不安ではなく、ワクワクで動く」という言葉を聞き、あらためて薬学教育について考えました。今、業界に希望を語れているだろうか、ワクワクを感じているだろうか——と。

認知科学の知見では「テストのために覚えたことは90%忘れる」といいます。「やらされている」と感じると、省エネでやりたいというマインドが生まれるそうです。それが忘れることにつながります。なんというもったいないことでしょうか。

教育は、探求をカリキュラムの中核に置き、知的発見型、創造型プロジェクトにしていくべきだとのことですが、本来、大学とはそういう場でした。薬学研究はまさにそうです。しかし、最近ではすっかり様相が変わったように感じます。

教育は「失敗から学ぶ」ものです。私は国家試験合格という結果を出す教育を実践してきました。それにはメンタルがつきものであるため、心理学を融合してきましたが、薬学教育がよりよい方向へ進むよう、今後は哲学的視点も入れていこうと思いました。

苫野一徳さんの素敵な言葉があります。「どんな不幸があっても、私がこう欲したんだと思えるように」。胸にしっかり刻み、前に進んでいきたいです。

メディセレスクール ファウンダー 児島 恵美子